

認 定 書

国住参建第 554 号
令和 3 年 8 月 23 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 喜多 肇一 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-1175
2. 認定をした構造方法等の名称
硬質ポリ塩化ビニル管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

硬質ポリ塩化ビニル管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項目		仕様
開口部	形状	円形(φ258mm以下)
	面積	0.0523m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		70.1%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 100mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の構成材料を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様	
熱膨張性シート	材料	化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート	
		寸法	総厚さ：3.18(±0.1)mm以上 幅：95mm以上(埋設部95mm以上)
		使用箇所	配管の外周部に2周以上巻き付け (突き合わせ又はオーバーラップ)
	表面材 (外面側)	材料	①又は② ①ガラス繊維強化アルミニウム系テープ ②アルミニウム系テープ
		厚さ	0.18(±0.1)mm以上
	シート (本体)	材料	黒鉛含有ブチルゴム
		組成 (質量%)	
		厚さ	3.0mm以上
	裏面材 (配管側)	材料	仕様：あり又はなし ①、②又は③ ①ポリオレフィン系フィルム ②ポリ塩化ビニル系フィルム ③ナイロン系フィルム
		厚さ	0.05mm以下
	充てん材	材料	セメントモルタル
		組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 25 砂 75
使用箇所 (使用量)		配管と躯体(床)との隙間に密に充てん (床厚方向 100mm以上)	

表3 配管の仕様

仕 様					
配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776) (記号：VP、HVP、VU、HT) (ただし、JISに規定する外径及び厚さ以外の管 については、規定された要求性能を満足するも の)	外 径	φ 216mm 以下	厚 さ	11mm 以下

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項 目		仕 様
貼合わせ用テープ	材 料	仕様：あり又はなし ①～⑤の一 ①ポリオレフィン系 ②ポリプロピレン系 ③ポリ塩化ビニル系 ④紙 ⑤アルミニウム系
	寸 法	厚さ：0.2mm 以下、幅：95mm 以下、長さ：100mm 以下
	使用箇所	必要に応じて、熱膨張性シートの固定に使用

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1に示す。

単位 mm

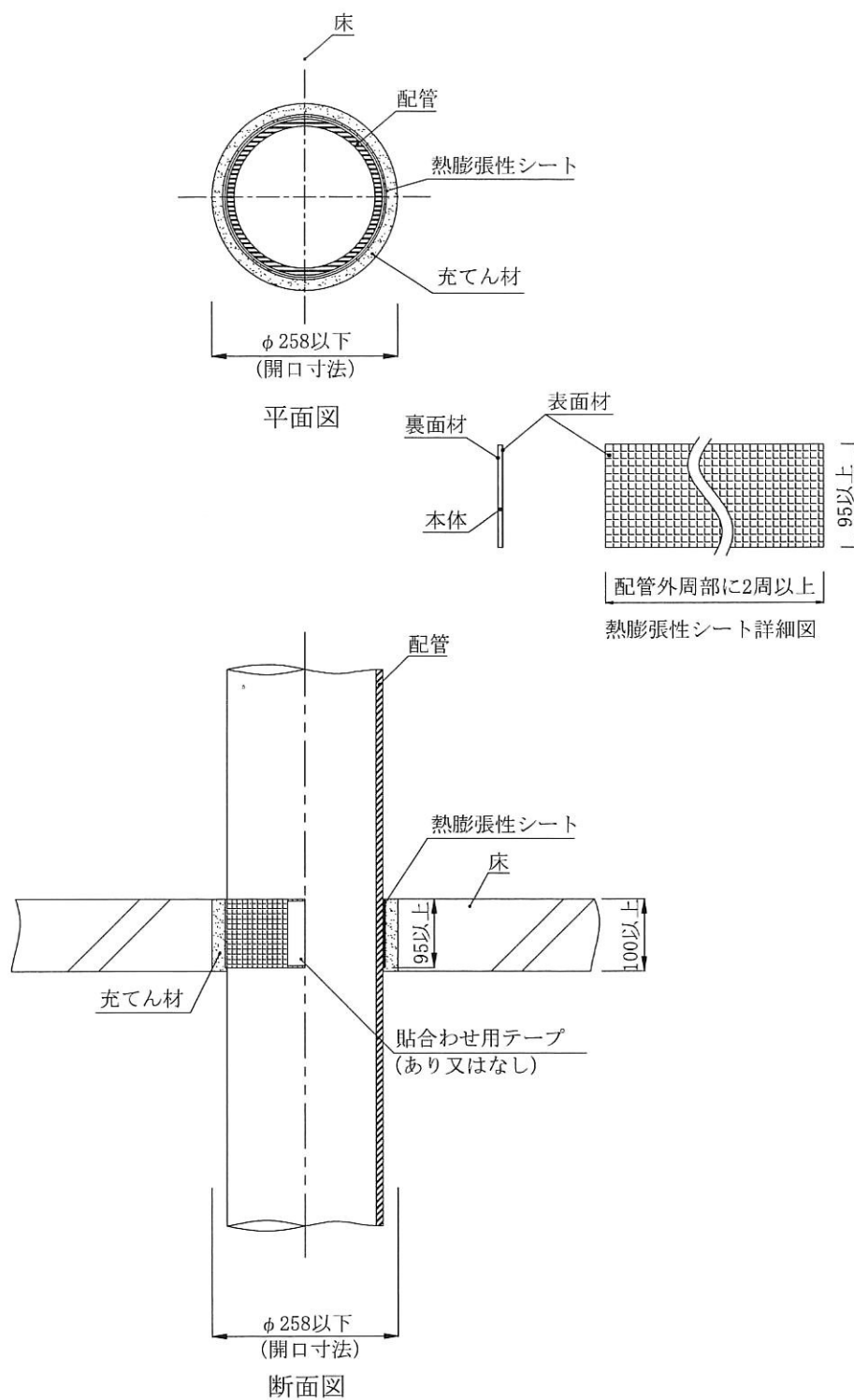


図1 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 貫通穴の設定
ボイド管やコアドリル等を用いて貫通穴を設ける。
- (2) 配管の設置
配管を設置して支持・固定する。
- (3) 熱膨張性シートの巻き付け
配管に熱膨張性シートを2周以上巻き付け（突き合わせ又はオーバーラップ）、必要に応じて貼合わせ用テープで熱膨張性シートを固定する。
熱膨張性シートの長さが足りない場合は、隙間が生じないように熱膨張性シートを2枚繋げても良い。また必要に応じて貼合わせ用テープで熱膨張性シートを固定する。（熱膨張性シートの接続箇所、巻き始め、巻き終わり3箇所以下）
- (4) 熱膨張性シートの設置
熱膨張性シートを95mm以上埋め戻すようにスライドさせる。
熱膨張性シートの幅が95mmを超える場合は、超えた分が床からはみ出していても良い。
- (5) 充てん材の埋め戻し
配管と躯体の開口部の隙間に、充てん材を密に（床厚方向100mm以上）充てんする。